

# 総和的な



代表取締役

## FUNABASHI KENICHI 船橋 謙一

代表取締役である船橋謙一は、1973年（昭和48年）に父が創業した運送会社の事業を引き継ぎ、2003年（平成15年）に有限会社総和運輸を設立。父との確執に悩みながらも、従業員のため、前を向いて走り続けてきた苦悩と成長の物語を紐解く。

### ドライバーとしての父を尊敬して

父の姿を思い出すと、いつも懸命に働いていた背中が思い浮かぶ。ドライバーとして腕に自信を持っていた父は、昼夜問わず、休日にも仕事に邁進していた。船橋は4人の姉や母とともに過ごしていたため、特段寂しい思いもせず、毎日遅くまで働く父を素直に尊敬していた。ところが後に気が付いたことがある。父は当時から会社では強権的だったという。仕事人としては尊敬出来ても、経営者という側面では素晴らしいとはどう

しても思えなかった。

### 横柄な態度で孤立を深めたサッカー部時代

幼少期は、知らず知らずのうちに父の影響を受けていたことは間違いない。小学校2年生で始めたサッカーでは、体格にも恵まれ、チーム内で一目置かれる存在に。親しい友人がキャプテンを務めていたこともあり、メンバーに対して高圧的な態度を取っていた。持ち前のスキルで、難しいボールさばきを事もなげに出来る自分と比較し、チームメイトを見下す発言をしたこともあったほどだ。

中学に進学しても、上級生を差し置いてレギュラーを取るなど実力の高さは変わらなかったが、横柄な態度も相変わらずだった。そんな中、中学2年生のときに大きな転機が訪れる。サッカー部の顧問が船橋をキャプテンに指名したのだ。しかし、この展開は望んで

いたものではなかった。これまで好き勝手な振る舞いが出来たのは、キャプテンである親しい友人がいたからこそ。自分が矢面に立つとなれば、今のままの態度ではいられない。周囲から好ましく思われていないのも肌で感じていた。皆が信頼する親友からキャプテンというポジションを奪うことにもなり、反発が来るのは必至だった。

に寄り添わなければ、誰もついてきてくれないと痛感。自然とそれまでのような物言いは無くなり、相手の目線に立って行動するようになった。この経験を通じて、船橋は人の上に立つものとしての心構えを学ぶことが出来たのだ。先生は、船橋が変わると信じてキャプテンを任せてくれた。もし全てを投げ出していたなら、今の船橋はいなかったのである。

### 顧問の先生の真意

キャプテンに就任すると、案の定苦しいことばかりだった。自分の行動に責任が伴うようになり、前のように奔放には振る舞えない。顧問の先生には何度も「キャプテンから降りたい」と懇願したが、先生は「お前がやらなければならぬ」と断られていたという。

なんとか部内をまとめるために行錯誤をした結果、部員の気持ち

### 多額の負債を背負う覚悟

大学卒業後は大手自動車メーカーに就職したが、父が経営していた運送会社が大きな負債を抱え、存続の危機に瀕していることが発覚する。会社を支え、幼かった自分をかわいがってくれた社員たちのことを思うと、いてもたってもいられない。そこで船橋は、行動を起こすことにした。

新しい企業を設立して、負債が

ゼロの状態から再出発する方法もあったが、負債額の大きさなどから断念。債権者である銀行などがないがしろにするのも納得出来ない。「こうなったら、借金を全て背負うしかない」。船橋は腹をくくった。父が一切関与しない形で新しい総和運輸を設立。自分と役員である姉が、全ての負債の保証人となったのである。もちろん、これは間違いなく茨の道だった。父の会社からついてきてくれた社員たちには、頭を下げて給料の減額について納得してもらい、支払日の遅延だけは阻止したという。その代わり心身への負担は相当なもので、眠れぬ日が続いたこともあった。それでも少しずつ前へと進み、ようやく借金返済の目途が立ってきた。そのとき、大きな苦難が降りかかってきたのである。

（後編に続く）



## 企業情報

設立年：2003年5月

年商：13億円

※2020年4月時点

このたび、有限会社総和運輸で  
新たに社内報を発行することになりました。

## 『総和的な』のお知らせ

### 社内報 活用案

異なる拠点の社員同士のコミュニケーション向上ツールとして

業務ノウハウの共有ツールとして

社内制度や連絡事項など情報共有をする場として

### インタビュー

2号連載で、1名ずつ役員や社員の方々のインタビューを実施。第1号は船橋謙一社長のインタビューをお届けいたします！

### 拠点・社員紹介

普段なかなか知ることの出来ない、他拠点の様子や社員の皆さんをクローズアップした企画も掲載予定！憧れのあの先輩の、マル秘テクが聞けるかも？

### 担当者紹介



事務  
たけがはら  
竹ヶ原 なつみ さん

突然ですが、社内報が始まりました。  
そして、気が付いたら担当になっていました。  
これから皆さんにインタビューが行くかと思っておりますので、ご協力よろしく  
お願いいたします。また、この社内報を通じて、新たに知ることもあるかと思  
います。逆に自分のことを知ってもらえる場でもあります。ソーシャル  
ディスタンスなご時世ですが、この機会に皆さんとの距離を少しでも縮め  
られたらいいなと思っておりますので、良かったらお付き合いください。

毎月発行いたします！

毎月 **6・20日** に発行

まずは手に取って  
読んでみてください！

## 〇〇さんの 1日に密着！

海上コンテナ輸送のドライバーとして活躍されている菊地さんに、お仕事の流れやこれまでの苦労話を伺いました！

ドライバー  
**菊地 照雄** さん  
きくちてるお

### 業務内容

海上コンテナの配送をしています。港でコンテナを積み、倉庫などお客様のところに配達するという流れです。担当エリアは決められていないので、毎日様々な場所を行き来しています。

### 1日の仕事の流れ

- 5:00 出発
- 8:00~ 倉庫に到着、荷降ろし作業
- 12:00 港に戻りコンテナを返却
- 12:00 過ぎ ランチ
- 12:30~ 港でコンテナの積み降ろし作業
- 17:30 会社に戻り、明日の現場の地図などを確認  
退社

### ランチ

港の休憩時間に当たる  
ときは、港で食べてい  
ます。タイミングが合えば、車で港に販売しに来るお弁当屋  
さんに行きます。唐揚げが好きなので、唐揚げ弁当を買うこ  
とがほとんどです！午後の配達があるときは、行った先の倉  
庫で荷降ろしが終わるのを待ちながら食べています。

### ドライバーとして働いてきた中での苦労談

最初のうちは、道を覚えるのが大変でした。曲がるころを  
間違えて通り過ぎてしまうこともしばしばで、時には時間に  
遅れてしまうことも……。そこで、主要な通りを覚えておい  
て、そこから現場にどう行か、順序立てて考えるようにしま  
した。これによって、道を大幅に間違えることはなくなりまし

た。慣れてスムーズに運転できるようになるまでには、半年  
ほどかかったと思います。

### ■ 仕事においてこだわっていること

運転中は、スピードを出さず、安全運転を心がけています。待機  
時には、YouTubeでドライブレコーダーに映った事故の動画  
を見ている。結構怖いですし、これからドライブするとい  
うときにそういった映像を見る人は稀だと思いますが(笑)「こういう  
ことに注意しないと危ないのだな」と勉強になります！

### ■ 現場での思い出深いエピソード

2年前、倉庫でお客様の荷降ろしを手伝ったことがありまし  
た。本来海上コンテナのドライバーは荷物を触ってはいけない  
のですが、夏の暑い時期だったにもかかわらず、人がいなくて  
1人で荷降ろしをしていたので、お手伝いをさせていただきました。  
20フィートのコンテナを降ろすには人数が多ければ30分  
で終わるのですが、2人で作業したので1時間もかかり、大変  
でした(笑)お客様からとても感謝されたことを覚えています。

### ■ 今後の目標

これからも無事故・無違反で、長く仕事を続けていくことが  
目標です。引き続き、ドライブレコーダーの動画を見るなどし  
て、安全意識を高めていきたいと思っています！

